

published by
生徒会
暁秀祭特集！！

Gyoshu News



心躍った魂の暁秀祭



良き思い出と共に良き暁秀生活を！

暁秀祭く文化の部く

大盛り上がり！ステージ企画

5月16日暁秀中学校高等学校で開催された暁秀祭、文化の部でステージ企画が行われた。隠し芸大会、中学生による演劇、男装女装コンテスト、カラオケ大会が行われ参加者全員が楽しめる企画だった。隠し芸大会では多くの人が驚く芸を高校生が見せ、男装女装コンテストでは、誰が一番男装女装が似合うかを決めた。どの生徒も見事な変装ぶりで、身も心も異性になりきっていた。カラオケ大会では中学、高校生のエンタリーした人たちがプロ顔負けの圧巻の歌声を披露し観客も一緒になって盛り上がった。文化祭ステージ企画は充実した内容で、全員が一つになれる素晴らしいものとなった。

「未来」へ、暁秀書道部

朝は大雨が降って書道部の発表ができるかどうか心配されたが、運良く雨がやみ、書道部はパフォーマンスを披露することが出来た。パフォーマンスは中庭で行われ、たくさんの方が集まった。パフォーマンスが始まる前、書道部の部員は全員で円陣を組み、音楽とともにパフォーマンスが始まった。最初は一人一行という感じで徐々に文章が出来上がり、そして、最後には下半分に大きく「未来」という字が書かれた。パフォーマンスは終わり、中庭には拍手が響き渡った。



初めての文化祭を終えて：

文化祭まで生徒たちは、暁秀祭を盛り上げるべく工夫と準備をしてきた。中学生は各クラスのパフォーマンスに向けて、高校生は大イベントを仕切るために尽力した。次は、初めて文化祭を経験した中1の感想だ。
1組 劇の時間をオーバーさせてしまったので来年はもっと面白く5分に収めたい。
2組 思ったより前半は忙しかったけれど、その後の自由行動が楽しかった。
3組 無料映画がとても楽しかった。パフォーマンスではベストを尽くせたとと思う。
4組 初めての文化祭にしては、1年生はスケジュール通りによく動けたと思う。
今年の文化祭は皆が協力して良い行事となった。

満員御礼、吹奏楽コンサート

毎年恒例イベントである吹奏楽のコンサートは、今年も大きな盛り上がりを見せた。今年も体育館のミニコンサートと中庭でのコンサート両方で行われた。中庭のコンサートでは、セーラムーンから妖怪ウォッチまで幅広い年代に愛されるアニメソングや、人気グループの楽曲を演奏し、アンコールでは圧巻のルパンの演奏を聞かせてくれた。今年も、たくさんのお客様や保護者をとりこにするすばらしい演奏であった。

一位を狙え！

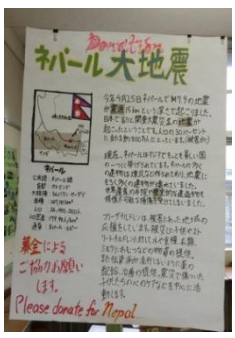
中学クラス対抗パフォーマンスステージ企画で中学生はステージパフォーマンスを披露した。中1の2学期から暁秀に転校してきた私にとって、初めての文化祭だった。中2では、1組がアナと雪の女王、2組はダンス、3組はシンデレラ、そして4組は完全オリジナルの餃子（ぎょうざ）をテーマにした。2年生では3組が優勝して、

残念ながら私のクラス（2年4組）は表彰されなかったが、皆で連覇を狙い頑張ったことはとてもいい思い出となった。
1年生の演技は初々しかった。結果は、3組が優勝したが、どのクラスも同じくらい面白かった。いろんなストーリーのキャラクタが1つの物語に登場するなど、新しいアイデアがたくさんあった。作品が多く、見ていて楽しかった。初めての文化祭パフォーマンスとは思えないほど脚本はしっかり起承転結があり、しかもちゃんと5分以内に終わるようにできていたのですごいな、とクラスメイトと話した。来年はもっとレベルアップした素晴らしい作品が期待できると思う。

3年生の先輩方の演技はまさにお手本になった。どの作品もわかりやすく、オリジナル作品に配慮しつつ、観客にウケるような仕掛けもあり、さすが先輩！と思いがらみていた。1週間で作上げたとは思えないほど完璧だった。
今年の文化祭でのステージ企画の中学パフォーマンスでは得ることがたくさんあった。1年生の演技を見ながら去年のクラスメイトのことも想像した。自分たちの演技も振り返り、来年に向け改善できる点を見つけ、そしてクラスの団結力も高めることができた。さらに、3年の先輩方の劇からたくさん学ぶことができ、来年は優勝狙って、また頑張りたい！

バイリンガルコーナー

文化祭では、中学2年から高校2年生までのバイリンガルのクラスがネパール大地震復興のための募金活動を行い、多額の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。



暁秀祭く体育の部く

白熱暁秀パワー

東西ともに熱い戦いを繰り広げた体育祭。5月17日、グラウンドでは初夏の暑さに負けないほどの熱気を帯びた、生徒たちの姿があった。80m走と125m走では順位の見分けがつかないものも多く、接戦のなか勝利を勝ち取った人が数多くいた。惜しくも勝利を逃した人もいただろうが、一分にも満たないその時間はそれぞれいろいろな形で心に刻まれたことだろう。
中学生のみが出場する長縄では、どのクラスも息の合った姿が見られ、驚かせてくれた。そして、今年から初導入！である高校クラス対抗、台風の日。チームワークが必要となるこの種目では出来るクラスと出来ないクラスの差が激しくはあったが、全員といていいほど皆笑顔が浮かべていたので、どのクラスも良い思い出になったのではないかとと思う。応援では、東西両軍の応援団とダンスを中心に凄く盛り上がり方を見せた。一部生徒は特に凄かった。物凄かった。そして、最後の種目である東西対抗リレー。いろいろな思いを胸に抱き走り切ったその姿は強く、感動的だった。

応援団ダンスインタビュー

応援団とダンスは、彼ら無しでは体育祭が成り立たないと言っても過言ではないほど大きな役割を担っていて、毎年彼らは素晴らしい活躍ぶりを見せてくれる。校内ではそんな彼らの姿を覗いて憧れの念を抱き、「やってみよう！」と思う生徒も少なくないはずだ。そんな人達のために、今回は応援団・ダンスの経験者に簡単なインタビューをして聞いた大まかな活動内容を紹介する。



応援団(2A鈴木健斗)

Q: 応援団で楽しいことや辛いことは?

A: 楽しいことは、他のメンバーと練習すること、体育祭当日にたくさん応援ができること。辛いことは、休日も登校日も朝や昼休みに練習があるので忙しいこと。
Q: 活動内容について簡単に教えてください。

A: 平日は朝、昼、放課後、休日は9時から15時まで。パートごと(コンバットマーチ、ヒット・アンド・アウェイなど)の部分的な練習を4月に、通し練習、ソーラン節や応援歌は5月にやる。
Q: 来年応援団に入りたいと思っ

ている人にメッセージをお願いします。

A: 途中で辛くなったり、やめたくなったりしても、終わった後には達成感と思いが残ります。体育祭当日はとて楽しく、同時に忙しいので頑張ってください。



ダンス(2A宮代彩加)

Q: ダンスで楽しかったことや辛かったことは?

A: 普段繋がりのない先輩や後輩たちと仲良くできることがとても楽しいと思う。辛いことは、炎天下での練習。
Q: 活動内容について簡単に教えてください。

A: 学校があるときは、朝、昼休み、放課後に練習があります。学

校がないときは一日(9時から15時まで)練習します。
Q: 来年ダンスに入りたいと思っ

ている人にメッセージをお願いします。

A: 始めは大変ですが、慣れれば楽しくなり、終わった後の達成感がすごく爽快でとても良い経験になると思います。ダンス経験の有無は問いません。ぜひ一緒に体育祭を盛り上げましょう!

今年度から暁秀生となった1年B組の内藤都さんに体育祭のインタビューをさせてもらった。
Q: 暁秀の体育祭はどうでしたか?

A: 予想以上に盛り上がり、とても楽しかったです。
Q: この体育祭の良いところなどありますか?

A: 学年関係なくみんなが盛り上がり、それがとてもよかったです!
Q: 実際にやってみてどの競技が好きでしたか?

A: ダンスをやった良かったなと思いました。また、東西リレーは見て楽しめました。
Q: 来年やってみたいなと思った競技はなんですか?

A: 男女混合に出てみたいなと思います。
暁秀の体育祭はとても好印象だった様子だ!

息を合わせて

長縄の競技は、クラスの団結力が試される競技だ。残念ながら、2年4組は8回しか飛べなかったが、去年の記録や練習中の1、2回より飛べていてうれしかった。しかし、中1を見ていて、去年は僕たちもこのようだったんだろうな!と思う、成長を実感した。



春の遠足

●高2 鎌倉

解散から集合までの四時間は別で自由行動をとった。二つ以上のお寺を回るという条件があり、風情豊かな寺を拝観したり、伝統的な町並みを歩いたりした。また、グルメを堪能したりと大いに楽しむこともでき、実り豊かな遠足となった。



●高1 静岡

県立美術館でロダン展と新収蔵品展を見た。有名な「考える人」や「地獄の門」などを見るのができ、感激した。昼食は近くの芝公園でとり、新しい仲間とお弁当はいつも以上にとてもおいしく感じた。その後、静岡県立大学、葉草園、公園に残るグループに分かれた。往復の電車ではマナーを守りながら友人との会話を楽しんだ。



ホットニュース

長崎の魂を受け継いで

5月8日に長崎で被爆した楠の二世の木を、校舎玄関近くの花壇に植えた。プランターに入った苗木をみんなで協力して植えて水をやった。この木を通して私たちは実感することのできない戦争というものを間接的に体感することができたと思う。この木を大事に育て、大きな楠に成長させたい。



半年後を楽しみに:

最近、家庭科で、味噌作りをした。味噌作り?と首をかしげる方のために、簡単な解説をする。まず、大豆を潰す。そして、米麴を混ぜる。と、ここで暁秀ならではのこだわりポイント。「近くの業者さんに頼んでハイクオリティなものをお願いしたいので、ここを飛ばさないでください。」(家庭科・飛田先生談)と、とてもいいものを使っているのだ。ちなみに大豆は北海道産のものを使用。



こだわり抜いた材料を混ぜ合わせ、それをこねてお団子にして...えいっ!とバケツの中にたたきつける。こうすると空気が抜けてちょうど良いらしい。みんな楽しく投げつけた。完成は半年後。お楽しみに。

<Bilingual NEWS>

Once again, this year, a student from 2Z has volunteered to be the next Taikusaijikkoiinchou, who is the leader and organizer of the entire Sports Festival in order to show how said expectations could affect a student starting the DP, we have decided to ask some questions to HotaruMorino, who is to become the new Taikusaijikkoiinchou. She stated that generally, she "tagged along with the current Taikusaijikkoiinchou during the preparations for this year's Sports Festival" so that she can experience what kind of things will be expected of her next year. When asked if it was hard dealing with adjusting to both moving into the DP and suddenly undertaking such responsibilities, she replied, "it was really hard balancing the two, especially because I already have very little free time after school". Additionally, she stated that although CAS is still a far away thought for most BL students, she recommended the job for completing CAS because it reaches many of the required outcomes and hours.

●編集後記

暁秀ニュース創刊号、いかがでしたか。生徒目線で学校について伝えるニュースになるよう目指してやってきました。まだまだ未熟ではありますが、よりよいものを作るために生徒会は頑張っていきたいと思っておりますので、次号にもぜひ目を通していただけたらと思います。また、暁秀ニュースを発行するに当たっては、たくさんの方の協力をいただきました。ご協力ありがとうございました。(生徒会一同)